

青少年の体験活動の意義と実際

青少年教育研究センター 青木 康太郎

本講義のねらい

青少年の体験活動の現状や必要性、教育的意義について理解を深め、体験活動の企画や指導のポイントを学ぶことで、今後の教育活動に役立ててもらおう。

(演習) 1. 体験活動の実際

- (1) 自然体験（自然を使ったゲーム）
- (2) 体験活動の効果を考える

(講義) 2. 近年の青少年における体験活動の現状と推移

- (1) 体験活動とは
- (2) 体験活動の現状と推移
- (3) 青少年の体験事情

3. 体験活動の意義

- (1) 直接体験にあつて間接体験にないもの
- (2) 子どもが学ぶ過程
- (3) 各学校段階で重点的に推進すべき体験活動

4. 多様な体験活動を提供する青少年教育施設

- (1) 青少年教育施設の役割
- (2) 青少年教育施設の現状と課題
- (3) 青少年教育施設職員に必要な 3 つの能力

5. 体験活動の企画や指導のポイント

- (1) プログラムの企画とは？
- (2) プログラムを立てる手順（考え方）
- (3) 体験学習の基本的な考え方
- (4) 体験活動の指導で大切にしてほしいこと

[主な参考文献]

- ・「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査」報告書（平成 26 年度調査）
- ・「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」報告書
- ・「学校で自然体験をすすめるために 自然体験活動指導者養成講習会テキスト」
- ・「体験活動事例集－豊かな体験活動の推進のために－」
- ・「平成 24 年度全国学力・学習状況調査」